

市民ワークショップ
「しぶかわ まちづくりカフェ」
実施結果報告書



平成28年12月

渋川市

【目次】

I.	市民ワークショップ「しぶかわ まちづくりカフェ」について.....	1
1	開催目的	1
2	開催概要	1
3	参加状況	1
4	一般ワークショップ参加者数及び年代構成	2
5	公的制度の利用状況	2
6	対話のテーマ	2
7	しぶかわまちづくりカフェの進め方	3
II.	まちづくりに対する意見等について	4
1	全体概要	4
2	まちづくりに対する主な意見等	5
III.	参加者アンケート結果について	9
1	しぶかわまちづくりカフェの満足度	9
2	自由記述	10

I. 市民ワークショップ「しぶかわ まちづくりカフェ」について

1 開催目的

現在の市民ニーズは多様化、高度化しており、市民意識調査だけでは捉えきれないより詳細なニーズを把握し、計画策定の参考とする目的で開催しました。

2 開催概要

(1) 高校生ワークショップ

市内の高等学校に通う第2学年の生徒を対象として、各学校で各1回、計4回開催しました。

(2) 一般ワークショップ

市民意識調査にご協力いただいた市民や公募によりご参加いただいた市民を対象として、渋川公民館で計4回開催しました。

(3) 実施手法（ワールドカフェ）

しぶかわまちづくりカフェは、「ワールドカフェ」の手法により実施しました。「ワールドカフェ」とは、リラックスした雰囲気の中、参加者を小グループに分け、度々メンバーを交換することにより、全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法です。

(4) その他

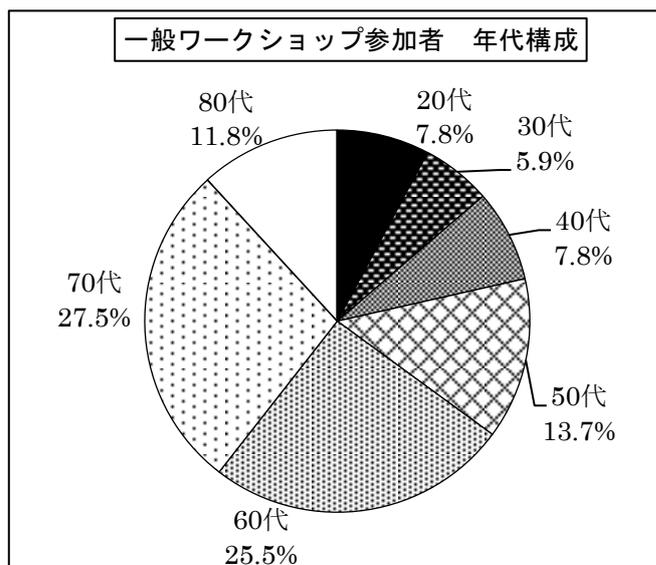
幅広く参加を促すため、託児サービスのほか、聴覚障害者の方のために手話通訳者を配置しました。

3 参加状況

区分	開催回	日程	場所	参加者(人)
高校生ワークショップ	渋川高校	7月26日(火) 13時～15時	各学校の教室	20
	渋川女子高校	8月1日(月) 9時～11時		16
	渋川青翠高校	7月21日(木) 13時30分～15時30分		16
	渋川工業高校	8月10日(水) 10時30分～12時30分		16
	合計			68
一般ワークショップ	第1回	9月2日(金) 19時～21時	渋川公民館	12
	第2回	9月3日(土) 10時～12時		17
	第3回	9月4日(日) 14時～16時		8
	第4回	9月5日(月) 10時～12時		14
	合計			51

4 一般ワークショップ参加者数及び年代構成

年代	参加者（人）		
	合計	男	女
20代	4	2	2
30代	3	2	1
40代	4	1	3
50代	7	2	5
60代	13	7	6
70代	14	7	7
80代	6	5	1
合計	51	26	25



5 公的制度の利用状況

制度	利用者（人）
保育サポーター（託児サービス）	2
手話通訳者派遣	1

6 対話のテーマ

ラウンド	テーマ
第1ラウンド	これからのまちづくりに、どんなキーワードがふさわしいと思いますか？
第2ラウンド	渋川市をどのような「まち」にしたいですか？
第3ラウンド	未来の渋川市のために、私たちにできることは何ですか？



7 しぶかわまちづくりカフェの進め方



参加者は、複数のテーブルに分かれて、市職員から当日の進め方などについて説明を受けます。

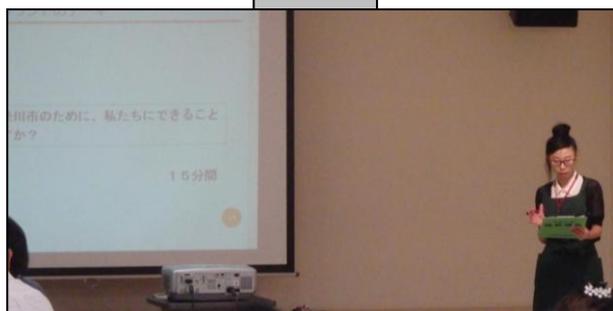
説明が終了したら第1ラウンドのテーマについて、話し合います。時間は10分です。



第1ラウンドが終了したら、テーブルに1人残して、他の人は別々のテーブルに移動し、第2ラウンドのテーマについて、話し合います。時間は15分です。



第2ラウンドが終了したら、第1ラウンドのテーブルに戻り、第3ラウンドのテーマについて、話し合います。時間は15分です。



全てのラウンドが終了したら、各テーブルを担当する市職員が、各テーブルで話し合われた内容を参加者全員に発表し、意見や考えを共有します。



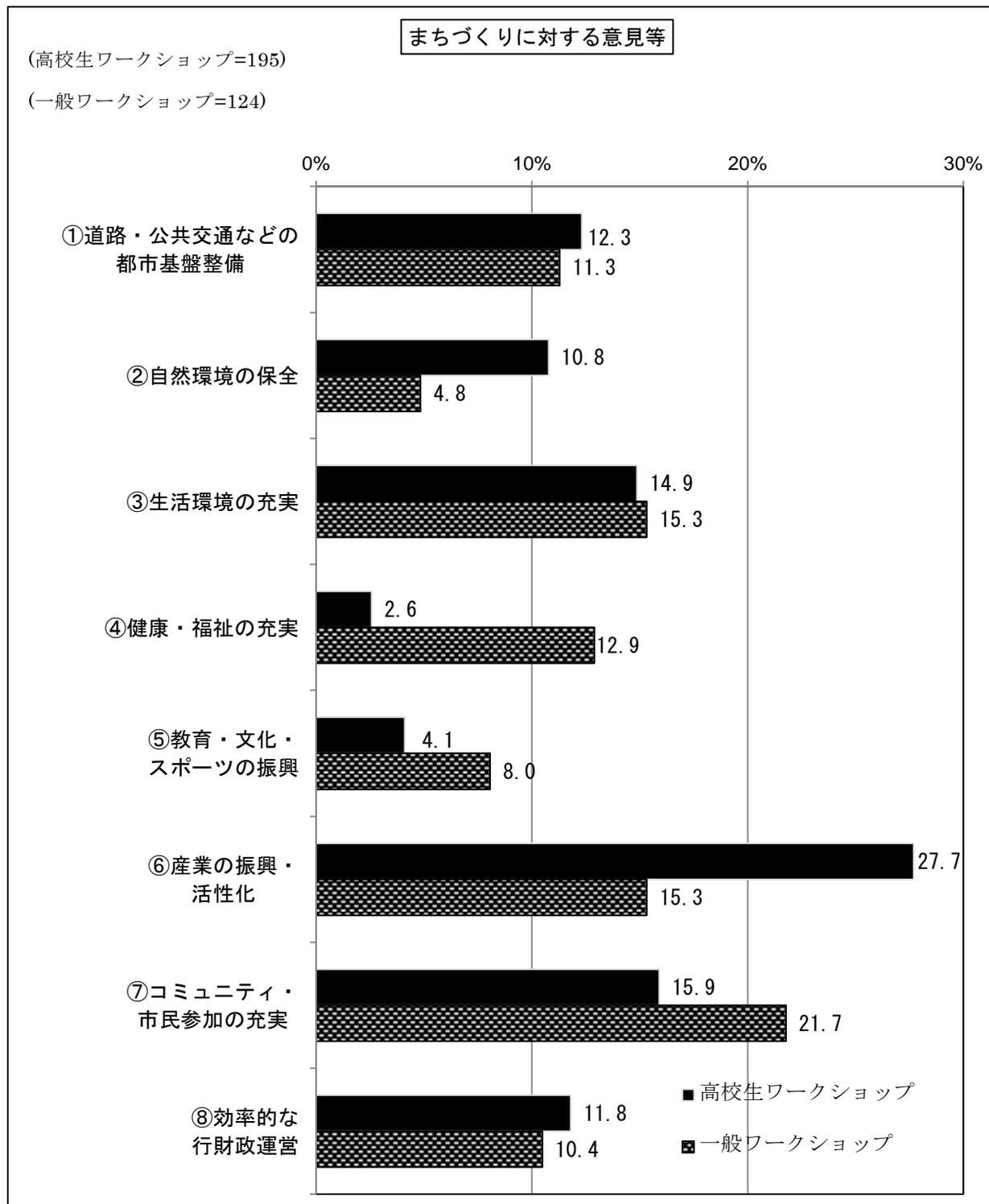
参加者は、共有した意見や考えを踏まえて、まちづくりに対する自分の意見等を付箋に記入し、パネルに貼付します。

他の参加者の付箋を見ることで、改めて、全員で意見等を共有します。

II. まちづくりに対する意見等について

1 全体概要

しぶかわまちづくりカフェで出たまちづくりに対する意見等は、高校生ワークショップで195件、一般ワークショップで124件でした。これらを現総合計画の8大分野別にまとめました。



2 まちづくりに対する主な意見等

しぶかわまちづくりカフェで出たまちづくりに対する主な意見等をまちづくりに関する主なキーワードごとに整理しました。

(1) 高校生ワークショップ

ア 道路について
自転車専用の道路を整備してほしい。
歩道舗装の状況が悪いので整備してほしい。
イ 公共交通について
電車やバスの本数を増やしてほしい。
電車の待ち時間に利用できる施設などを駅周辺に整備してほしい。
バス停に屋根を付けるなど、停留所の整備してほしい。
ウ 自然・環境について
地域の人が協力して、河川の清掃活動を行う。
環境整備などのボランティアを行う。
エ 定住環境について
都市的発展は前橋などに任せ、渋川は自然の魅力をいかした田舎的なまちづくりを進めてほしい。
市外に出かけなくても、市内で十分に生活ができるまちづくりを進めてほしい。
オ 防犯について
不審者対策として、街灯の増設やイルミネーションを活用してほしい。
市民が協力して防犯パトロールを行う。
カ 子育てについて
子育て世代に金銭的負担の軽減・補助をしてほしい。
女性が働きやすいまちづくりを進めてほしい。
キ 教育について
図書館などの施設を増やしてほしい。
私立高校を誘致して、スポーツに力を入れてほしい。

ク 商業について
駅前に子供が遊べる施設や中高校生が買い物できる施設を整備してほしい。
渋川ショッピングプラザ跡地をいかした市街地の活性化を進めてほしい。
学生向けの商業施設（ショッピングモールなど）を誘致してほしい。
積極的に地域の店を利用し、渋川市に貢献する。

ケ 観光・シティプロモーションについて
伊香保温泉以外の観光名所づくりも行ってもらいたい。
食の文化（温泉まんじゅう、水沢うどん）を使ったPRをしてほしい。
ご当地ゆるキャラやアイドルで盛り上げてほしい。
学生が渋川市をPRするプロモーションビデオを作る。
実際に地域の行事に参加して、その様子をSNS*などで発信する。

コ コミュニティ・市民と行政の協働について
文化祭などを通じて地域の人と関わる機会を作り距離を縮める。
市内の高校同士で交流を深め、地域活動（花植え、ゴミ捨てなど）を行う。
学生が市と市民の中継役（住民から意見を聴き、市へつなげるなど）になる。
選挙に行って投票率を上げ、市民の意見を反映されやすくする。

※SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略）
 インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築するサービスのこと。
 フェイスブックやツイッターなど。



(2) 一般ワークショップ

ア 道路について

渋川駅から吉岡バイパスまでの早期開通を進めてほしい。

イ 公共交通について

渋川駅まで湘南新宿ラインの乗り入れを進めてほしい。

旧市町村を繋ぐ環状バス、医療センターへの乗り換え無しのバスを整備してほしい。

デマンドバスを導入してほしい。

ウ 都市整備について

区画整理を実施した地区から人が出て行ってしまったので対策を考えてほしい。

エ 自然・環境について

ハイブリット車や廃油で動くバスの利用を推進し、緑豊かなまちづくりを進めてほしい。

オ 定住環境について

渋川に移住してきたが、災害が少なく住みやすいと感じる。渋川市の良さとしてもっと宣伝してほしい。

カ 防犯について

安心安全のためのパトロールを自治会で行っている。

キ 空家について

市内の空家を老人施設等に利用してほしい。

空家を利用して世代間交流ができるようなコミュニティ施設を整備してほしい。

ク 健康・福祉について

お年寄りが家にこもらないような環境、外に出る機会を作してほしい。

手話などを気軽に学べる環境を整備してほしい。

独居者のケアをもっと充実させてほしい。

ウォーキングをして地域レベルで健康の取り組みをしていく。

健康でいることで、医療費を削減する。

ケ 子育てについて

子育て支援に特色のある補助金を充実させて人を増やしてほしい。

行政センターや廃校になった学校の校舎や校庭等の余剰スペースを活用して、児童館等を整備してほしい。

昔みたいに地域で子育てできるまち、子育てしやすいまちづくりを進めてほしい。

コ 生涯学習について

文化祭や発表会など、生涯学習の場を充実させてほしい。

サ 観光について

伊香保に絡めて渋川の他の観光資源も発展させてほしい。

農業と観光との連携（グリーンツーリズム）のように、産業間のつながりを。

シ 企業誘致・勤労者対策について

地域の特性や2つのインターチェンジをいかした企業誘致をしてほしい。

企業・行政・商工会が連携して、情報の発信・共有をもっと積極的に行う。

ス コミュニティ・市民と行政の協働について

人任せではなく、「自分からまちづくりに参加しよう！」という人を増やす。

地域で出来ることはみんなで協力してやる。地域で頑張っても出来ないことは行政に任せる。

セ 情報発信について

渋川市は全体的にPRが足りない。

市外から来た人への情報提供が少ないので、行政からも発信を増やしてほしい。

ソ 広域行政について

他市町村などとのつながりを強めてほしい。

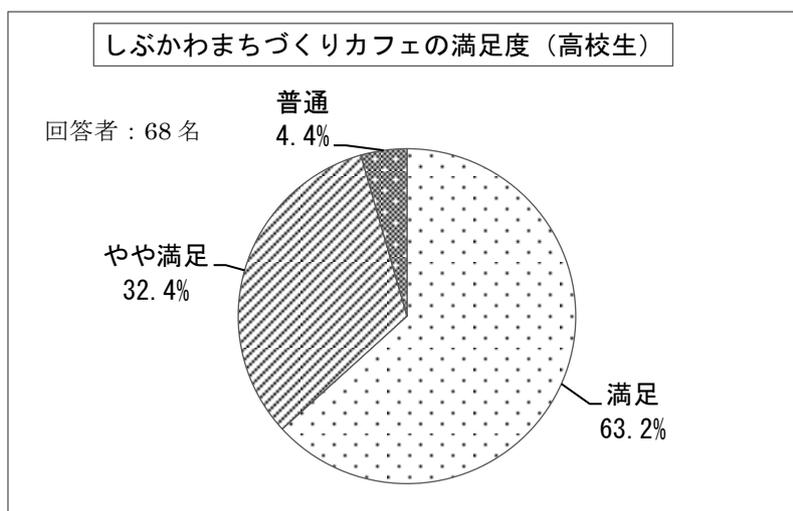
Ⅲ. 参加者アンケート結果について

市民ワークショップ参加者に対して、終了後にアンケートを実施しました。

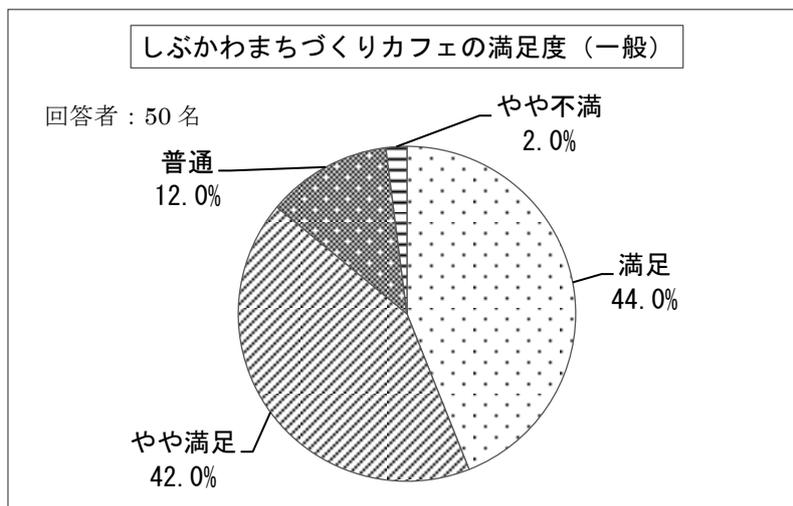
1 しぶかわまちづくりカフェの満足度

(満足・やや満足・普通・やや不満・不満の5段階評価)

(1) 高校生ワークショップ



(2) 一般ワークショップ



2 自由記述

(1) 高校生ワークショップ

主な意見
普段あまりこのようなことについて考える機会がないので参加してみるととても良い勉強になった。これを機に今の自分に何ができるのかじっくり考えてみたい。
これからの渋川市について良く考えることができた。この体験からこのように行政について話し合う機会が大切であることを感じた。
まだまだ改善できることがあるがその中でも高校生の力は意外と大きいのではと思った。生徒会としても、他の高校又は市ともっと関わってよりよい市を作っていきたい。
いろいろな人の意見を聞き、自分の意見が変わったり自分の意見をプラスしてさらに良くなったり、様々な面から考えられるようになった。
自分で考えていたよりもにぎやかで明るい環境での話し合いだったので、自分の意見をどんどん言えたり、理解を深めることができた。
明るく楽しい雰囲気での話し合いができるので、意見も出しやすいし、違う意見も聞けたりして考えが広がったので、こういう場があるのは、参加する人たちにとっても、市や町にとってもいいことだと思った。
今後もあるのであれば、積極的に参加したい。またお願いします。
高校卒業したら、他県に出ようと考えていたが、これから改善されるようになったら、少し考えてみようと思った。



(2) 一般ワークショップ

主な意見
住んでいる地域や働いている環境によって、様々な考えがある事が良くわかった。これから自分達の住んでいる渋川市を、より良いまちにしていこうという考えを持っている人が多く、真剣に自分でも意識しようと思った。
高齢の方、別地区の人の目線を知ることが出来た。自分ではどう動けばいいか考えるきっかけになった。
この場がなければ会う事も無かった方々と会えたのは、とても有意義だった。意見を出し合うことは、自分の考えを整理するためにも良かった。
私自身、あまり産業分野などについて考えた事が無かったので、「産業の視点から見た渋川」について考えることが出来て新鮮だった。また、若い人が増えてほしいと多くの方が感じている事が分かり、就職の時に渋川を視野に入れていきたいと思った。
他の人達の考え方が参考になった。また、自分がこれから出来る事を進んでやっていく気持ちが強くなった。
自分と同じ考えを持っている方がいることが分って嬉しかった。また、渋川市のことを真剣に考えている方がたくさんいる事も理解が出来、大変楽しく過ごせた。
またこういうまちづくりを話合う機会があれば参加したいと思う。
行政の仕事では、とても新しい発想で、参加させていただき本当に良かった。今後も継続してほしい。

